

令和 3 年度 施策評価表

施策	0503 医療体制の充実	施策担当部等	福祉保健部	部長	川下 隆治
		施策担当課等	国保けんこう課	課長	前川 靖彦
施策の方針	救急医療体制の充実を図るとともに、市民病院の医療サービス向上に努める。				
関連するSDGsのゴール					

【DO（実施）】

基本計画における目標値

指標名	単位	基準値 (H26)	H28目標値	H29目標値	H30目標値	R1目標値	R2目標値	R2年度	
			H28実績値	H29実績値	H30実績値	R1実績値	R2実績値	達成率	進捗率
① 休日・夜間における年間外来患者数（当番医と夜間初期診療センターの合計人数）	人	10,051	10,000 9,962	10,250 10,325	10,500 10,191	10,750 10,114	11,000 4,717	42.9%	42.9%
② 市民病院の年間外来患者数	人	73,986	75,700 79,240	76,500 80,594	77,100 78,974	77,700 79,361	78,300 69,550	88.8%	88.8%
③									
④									
⑤									

施策達成状況の説明

① 休日・夜間における年間外来患者数の減少は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い受診を控える市民が多かったことや、発熱がある場合は直接医療機関を受診せず電話確認をとる等の対策がとられたことが要因である。
 ② 新型コロナウイルス感染拡大による受診抑制のため、目標値及び前年度を大きく下回った。

施策経費

(単位:千円)		R2年度 決算	R3年度 予算	R4年度 見込	特記事項
内訳	事業費	1,172,588	955,816	863,190	
	国庫支出金	0	14,050	0	
	県支出金	4,511	15,492	580	
	地方債	0	0	0	
	その他	139,118	176,560	149,963	
	一般財源	1,028,959	749,714	712,647	
	人件費	15,153	17,935	-	
フルコスト	1,187,741	973,751	-		

施策の概要

050301	安心して受診できる体制づくり	休日や夜間に市民が安心して医療機関を受診できるよう、大村市夜間初期診療センター、民間医療機関、市立大村市民病院及び国立病院機構長崎医療センターの連携を強化します。 また、日頃から安心して受診できる身近な「かかりつけ医」の普及促進に努めます。
050302	市民病院の機能充実	老朽化した市立大村市民病院を改築し、病院機能の充実を図るとともに、地域医療の中核病院として、「市民の生命と健康を守り、地域に根ざし、市民に信頼される病院」づくりを進めます。

【CHECK（評価）施策担当部長】

<p>施策を達成する上での問題点・課題</p>	<p>夜間初期診療センターについては、平成25年5月から小児科と内科の2科診療となった。令和元年度の平均利用者数は10.4人、令和2年度は4.0人となり、前年度に比べ、新型コロナウイルス感染症の影響による受診控えのため、小児科、内科共に大きく減少した。</p> <p>夜間初期診療センターは、年々認知度が上がってきているが、さらに周知に努め、夜間における軽症患者の利用促進を図る必要がある。</p> <p>市立大村市民病院については、2次救急医療機関として、今後も引き続き地域医療の中核を担う必要があることから、医師の確保と経営の安定に努めていく必要がある。</p>
-------------------------	---

【ACTION（改善・改革）】

<p>問題点・課題を踏まえた施策構成事務事業の改善・改革や新規事業についての考え方</p>	<p>夜間初期診療センターが担う一次救急医療、市立大村市民病院が担う二次救急医療の役割を明確にし、本市の救急医療機能を維持するため、市立大村市民病院の時間外診察に係る利用料金を見直すとともに、救急医療の適正受診について周知徹底を図る。</p>
---	---

令和4年度新規事業

	事業名（仮称）	担当課	R4年度見込	対象・事業概要など
			事業費（千円）	
1				
2				
3				
4				
5				
			0	